

令和6年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

書 写

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	書写 106・206・306・406・506・606
17 教出	書写 107・207・307・407・507・607
38 光村	書写 108・208・308・408・508・608

書 写

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 17 教出 38 光村

2 調査研究の観点

- (1) 国語で正確に理解し適切に表現する上で必要となる「書写」の資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 内容の程度が心身の発達段階に応じて配慮されているか。
- (3) 「書写に関する事項」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 文字や表記等が適切であり、学習に必要な写真や図表等の資料への配慮がなされているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究 …………… 観点(1)～(3)
 - ① ページ数、単元数 ② 教材数
- (2) 具体的な指導事項等について …………… 観点(1)～(3)
 - ① 姿勢・筆記具の持ち方 ② 筆順・点画 ③ 字形
 - ④ 文字の大きさ・配列 ⑤ 筆圧・書く速さ ⑥ 硬筆と毛筆との関連
- (3) 日常生活や学習活動とのつながりについて（言語活動例等） …………… 観点(1)(2)
- (4) 伝統的な言語文化に関する事項の指導について …………… 観点(1)
- (5) その他の特色について …………… 観点(3)(4)

1 概括的な調査研究

(1) ページ数、単元数

学年	ページ数	単元数
1年	49	4
2年	45	3
3年	57	10
4年	53	9
5年	53	9
6年	53	8
総数	310	43

- 各学年1冊 計6冊
- B5判

(2) 教材数

	毛筆を扱っている教材数			行書を扱っている教材数	日常生活や学習活動に関わる教材数	伝統的な言語文化に関わる教材数
	漢字	仮名	漢字と仮名			
1年	0	0	0	0	4	1
2年	0	0	0	0	4	2
3年	8	1	1	0	4	2
4年	7	1	2	0	5	2
5年	4	1	3	0	4	3
6年	3	1	4	0	4	3
全	22	4	10	0	25	13

※1、2年では、水筆が扱われている。

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢、筆記具の持ち方

- 毛筆の姿勢と硬筆の姿勢が対比して示されている。(3～6年)
- 左手で持つ鉛筆の持ち方が示されている。(1、2年)
- 毛筆(大筆)の持ち方と鉛筆の持ち方が対比して示されている。(3～6年)
- 左手で筆を持つ人のための用具の置き方が示されている。(3～6年)
- フェルトペンの持ち方が示されている。(1、2年)

※扱う筆記具 鉛筆 毛筆(大筆、小筆) 水筆 絵筆 筆ペン
フェルトペン ボールペン 色鉛筆

(2) 筆順、点画

- 平仮名や片仮名、漢字には、筆順が数字で示されている。
- 「書写のかぎ」に筆順のきまりが7つ示されている。
- 「始筆」「送筆」「終筆」が「とん」「すう」「ぴたっ」等の表現で示されている。(3～6年)
- 毛筆の穂先の向きや動きが、キャラクターを使って示されている。(3～6年)

(3) 字形

- 似ている片仮名が対比して示されている。(2年)
- 平仮名、片仮名、漢字の外形が図形で示されている。
- 漢字が部首になるときの変化が示されている。(4、6年)

(4) 文字の大きさ、配列

- 平仮名は漢字より小さめに書くことが示されている。(3～6年)
- 画数の少ない漢字や「くにがまえ」のような囲む形の漢字は小さめに書くことが示されている。(5、6年)
- 用紙に合った文字の大きさと配列が示されている。(6年)

(5) 筆圧、書く速さ

- 筆圧を3段階に分け、文字の太さや色の濃さによって筆圧の加え方が示されている。(3年)
- 場面に合わせて速さを考えて書くことが示されている。(6年)
- 「手書き文字のいろいろな書き方」が5つ示されている。(6年)

(6) 硬筆と毛筆との関連

- 毛筆の学習の後の硬筆の学習に、漢字の書き取りやノートから言葉を探して書くなどの学習が設定されている。(3～6年)

3 日常生活や学習活動とのつながりについて (言語活動例等)

- 日常生活や学習活動に関わる内容が取り上げられている。
日記、名前 (1年) ノート (1、2、4、5年) 連絡帳、観察カード、ありがとうカード (縦罫、横罫 (6年)) (2年)
原稿用紙、実験記録、手紙 (葉書、封筒) (3、4年)、好きな言葉 (3～6年)
新聞、年賀状 (小筆) (4年) リーフレット (5年)
インタビューメモ、ポスター、書写展覧会 (色紙、短冊など) (6年)
- 他教科との関連が図られている。

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化に関わる教材が取り上げられている。
いろは歌 (2年) 俳句 (3年) 百人一首 (4年) 竹取物語、奥の細道、枕草子 (5年) 漢詩「春暁」、漢文「論語」 (6年)
- 書き初めが取り上げられている。(全学年)

5 その他の特色について

- 「書写の学び方」が示されている。(2～6年)
- 教材の末尾に、「ふり返ろう」が設けられている。(全学年)
- 水書シート (色：灰色) が付いている。(1、2年)
- デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数 (全学年)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
19	18	25	22	21	19

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。(全学年)
- 文字に関する伝統文化について取り上げている。(全学年)
- 「書写のかぎ」として示されていた内容が、巻末にまとめて示されている。(2～6年)

1 概括的な調査研究

(1) ページ数、単元数

学年	ページ数	単元数
1年	49	4
2年	41	3
3年	61	8
4年	61	8
5年	53	9
6年	53	6
総数	318	38

- 各学年1冊 計6冊
- B5判

(2) 教材数

	毛筆を扱っている教材数			行書を扱っている教材数	日常生活や学習活動に関わる教材数	伝統的な言語文化に関わる教材数
	漢字	仮名	漢字と仮名			
1年	0	0	0	0	5	1
2年	0	0	0	0	6	2
3年	6	2	1	0	6	2
4年	7	1	1	0	7	2
5年	5	1	3	0	5	2
6年	2	0	5	1	7	3
全	20	4	10	1	36	12

※1、2年では、水筆が扱われている。

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢、筆記具の持ち方

- 硬筆の姿勢（1、2年）や毛筆の姿勢（3～6年）が示されている。
- 左手で持つ鉛筆の持ち方が示されている。（1、2年）
- 毛筆（大筆、小筆）の持ち方と鉛筆の持ち方が対比して示されている。（3～6年）
- 左手で筆を持つ人のための用具の置き方が示されている。（3～6年）
- 水筆、フェルトペンの持ち方（1、2年）が示されている。

※扱う筆記具 鉛筆 毛筆（大筆、小筆） 水筆 フェルトペン ボールペン 筆ペン
サインペン 絵の具筆 色鉛筆

(2) 筆順、点画

- 平仮名や片仮名、漢字には、筆順が数字で示されている。
- 筆順のきまりが8つ示されている。
- 「始筆」「送筆」「終筆」が「とん」「すうっ」「ぴたっ」の表現で示されている。（3、4年）
- 穂先の向きが「10時半の向き」と示されている。（3、4年）

(3) 字形

- 似ている平仮名（1年）、似ている片仮名（1年）が対比して示されている。
- 平仮名、片仮名、漢字の外形が図形で示されている。
- 部首とその元の漢字を並べたり重ねたりして、字形の変化が示されている。（4、6年）

(4) 文字の大きさ、配列

- 平仮名は漢字より小さめに書くことが示されている。（3～6年）
- 画数の少ない漢字は小さめに書くと、つり合いがとれることが示されている。（5、6年）
- 用紙に対する文字の大きさと配列が示されている。（5、6年）

(5) 筆圧、書く速さ

- 筆圧を3段階に分けて、「ちゅん」「とっ」「とん」という表現で示されている。（2～4年）
- 目的に合った書く速さが示されている。（5年）
- 手書きのいろいろな書き方が3つ示されている。（5、6年）

(6) 硬筆と毛筆との関連

- 毛筆の学習の始めと終わりに書く「ためし書き」と「まとめ書き」の欄がある。（3～6年）

3 日常生活や学習活動とのつながりについて（言語活動例等）

- 日常生活や学習活動に関わる内容が取り上げられている。
 観察カード（横罫）、絵日記（縦罫）、ありがとうカード（横・縦罫）（1年） 招待状、本の紹介カード、時間割（2年） 展覧会の作品カード（横罫）、原稿用紙、発表資料（3年）
 発表資料、防災かるた、学級新聞（4年） ポスター、絵はがき（5年） リーフレット、短冊、しおりの表紙、好きな言葉、卒業制作（6年） ノート（ます目）（1、2、3、4、6年） はがき（2～6年） メモ（3～6年） 手紙（便箋、封筒）（3～6年）
- 他教科との関連が図られている。

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化に関わる教材が取り上げられている。
 俳句（3、6年） 短歌（4年） 竹取物語（5年） 枕草子（6年）
- 書き初めが取り上げられている。（全学年）

5 その他の特色について

- 「学習の進め方」が示されている。（2～6年）
- 教材の末尾に、自己評価欄が設けられている。（全学年）
- 水書シート（色：グリーン）が付いている。（1、2年）
- デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数（全学年）

1年	2年	3年	4年	5年	6年
16	7	14	13	13	13

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。（全学年）
- 文字に関する伝統文化について取り上げている。（全学年）
- りんごのアイコン（1、2年）、鳥のアイコン（3～6年）で示すことによって、めあてや評価欄等をリンクさせている。

1 概括的な調査研究

(1) ページ数、単元数

学年	ページ数	単元数
1年	49	5
2年	41	4
3年	65	6
4年	53	6
5年	49	6
6年	57	5
総数	314	32

- 各学年1冊 計6冊
- B5判

(2) 教材数

	毛筆を扱っている教材数			行書を扱っている教材数	日常生活や学習活動に関わる教材数	伝統的な言語文化に関わる教材数
	漢字	仮名	漢字と仮名			
1年	0	0	0	0	3	1
2年	0	0	0	0	4	1
3年	8	1	1	0	2	2
4年	7	1	1	0	7	3
5年	4	1	3	0	5	3
6年	4	1	3	1	5	2
全	23	4	8	1	26	12

※1、2年では、水筆が扱われている。

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢、筆記具の持ち方

- 毛筆（大筆）と硬筆の姿勢（3年）、毛筆（大筆、小筆）と硬筆の姿勢（4、5、6年）が対比して示されている。
 - 左手で持つ鉛筆の持ち方が示されている。（1、2年）
 - 毛筆では腕の使い方（3年）が示されている。
 - 左手で筆を持つ人のための用具の置き方が示されている。（3年～6年）
 - 水筆、フェルトペンの持ち方（1、2年）が示されている。
- ※扱う筆記具 鉛筆 毛筆（大筆、小筆） 水筆 フェルトペン
筆ペン ボールペン 色鉛筆

(2) 筆順、点画

- 平仮名や片仮名、漢字には、筆順が数字で示されている。
- 筆順のきまりが4つ示されている。（2年）
- 「始筆」「送筆」「終筆」が「トン」「スー」「トン」等の表現で示されている。（3年）
- 毛筆の穂先の向きや動きが、キャラクター（「ななめほさきちゃん」）を使って示されている。（3年、4年）

(3) 字形

- 似ている平仮名（1年）、似ている漢字と片仮名（1年）が対比して示されている。
- 平仮名、片仮名、漢字の外形が図形で示されている。
- 部首とその元の漢字を重ねて、字形の変化が示されている。（4、6年）

(4) 文字の大きさ、配列

- 漢字は大きめに、平仮名は小さめに書くことが示されている。（4～6年）
- 画数の少ない漢字は小さめに書くことが示されている。（4、6年）
- 用紙に合った文字の大きさと配列が示されている。（5、6年）

(5) 筆圧、書く速さ

- 筆圧を3段階に分けて、筆圧の加え方が示されている。（3、4、6年）
- 場面に合った書く速さと、「速く書くためのコツ」が示されている。（5年）
- 「漢字のいろいろな書き方」が6つ示されている。（5年）

(6) 硬筆と毛筆との関連

- 毛筆の学習の後に、硬筆の学習が設定されている。（3～6年）

3 日常生活や学習活動とのつながりについて（言語活動例等）

- 日常生活や学習活動に関わる内容が取り上げられている。
 絵日記（1年） 観察記録（1、2年） ノート（1、3、4、6年） 原稿用紙（2、4、6年） 連絡帳（2年） 便箋（3～6年） 封筒（3～5年） リーフレット
 防災マップ（4年） インタビューメモ、マイヒーローカード、六年生を送る会にむけて（プログラム、寄せ書き、招待状、メッセージ）（5年） はがき（4～6年）
 ポスター（4、5、6年） 新聞（5、6年） 通信文、パンフレット、作品集（6年）
- 他教科との関連が図られている。

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化に関わる教材が取り上げられている。
 ことわざ（3年） 俳句（4、6年） 百人一首（4年） 竹取物語、枕草子（5年）
- 書き初めが取り上げられている。（全学年）

5 その他の特色について

- 「学習の進め方」が示されている。（3～6年）
- 教材の末尾に、自己評価欄（1年：「できたかな」、2～6年：「ふりかえろう」）が設けられている。
- 水書シート（色：グレー）（1、2年）や「書写ブック」（6年）が付いている。
- デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数（全学年）

1年	2年	3年	4年	5年	6年
26	22	34	29	30	27

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。（全学年）
- 文字に関する伝統文化について取り上げている（全学年）
- 「たいせつ」として示されていた内容が、まとめて示されている。（2～6年）